

# CentreCOM® **RG107TX/B** リリースノート

この度は、CentreCOM RG107TX/B をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。  
このリリースノートは、付属のユーザーマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ソフトウェアバージョン 2.2.0

### 2 本バージョンで追加された項目

ソフトウェアバージョン2.1.0 から2.2.0 へのバージョンアップにおいて、SNMPアクセス違反トラップ送信の有効・無効を設定するための以下のコマンドが追加されました。

#### 使用コマンド

```
SET SNMP [AUTHTRAP={enable|disable}]
```

#### パラメーター

AUTHTRAP : authenticationFailureトラップ(SNMPアクセス違反トラップ)送信の有効・無効。enableで有効、disableで無効になります。デフォルトは無効です。

### 3 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン2.1.0 から2.2.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 MIB II オブジェクトの ipAdEntIfIndex に正しい値がセットされるよう修正しました。
- 3.2 本製品起動時に、まれに Boot プログラムが停止する場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.3 SNMP マネージャーを本製品と異なるネットワークアドレスに複数設定した場合、coldStartトラップがすべてのマネージャーに対して送信されませんでしたでしたが、これを修正しました。
- 3.4 本製品を長時間稼働すると、まれにリポートする場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.5 本製品起動時に、ポートによって coldStart、linkUpトラップが送信されない場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.6 ICMP Timestamp Request を受信すると、リポートする場合がありますでしたが、これを修正しました。


## 4 本バージョンでの制限事項

---

### 4.1 SNMP MIB オブジェクトについて

MIB II オブジェクトのsnmpInBadCommunityNames、snmpInBadCommunityUses の値が正しくカウントされません。

### 4.2 SNMP マネージャーの複数設定について


 **参照** 「ユーザーマニュアル」 3-12 ページ

SNMP マネージャーを複数設定した場合、本製品起動時に送信されるトラップ数は機器全体で16個までです。

## 5 マニュアルの補足


---

### 5.1 SNMP マネージャーの設定について

 **参照** 「ユーザーマニュアル」 3-12 ページ

SNMP マネージャーの設定(登録・登録解除)は、本製品の再起動後に有効になります。

### 5.2 FTP/TFTP によるバージョンアップについて

 **参照** 「ユーザーマニュアル」 4-2 ページ

FTP/TFTP を使用してソフトウェアをバージョンアップする場合は、ファイルのダウンロード終了後、本体上面の SYSTEM LED が消灯していることを確認し、本製品を再起動してください。なお、Xmodem によるバージョンアップの場合、再起動の必要はありません。